

＜資料＞

義務教育期の子どもの学外スポーツに関する研究

日本体育学会神奈川支部

共同研究会・社会体育研究班

はじめに

今日のスポーツの興隆は、子どもにまでおよんでいる。そして、子どものスポーツの場は学内から、学外にまで拡大してきている。

過去において子どもの学外スポーツがまったくなかったわけではない。しかし、今日的な状況を日本の体育界は経験したことはなかった。

学校体育においては、予期していたがこれはまったく新しい事態であって、その対応には戸惑いすら見られるのが現状である。

学校体育と学外スポーツを両立させることは、現代に生きる子どもにとっては必要なことである。このことを解決することは、重要で急務な課題である。

しかして、それがその望ましい方向で展開されているのであろうか。そこに横たわる問題点とは何かを浮き彫りにすることによって、この二者の両立への道を求めて行くことをわれわれは主眼とするものである。

この問題点に関する観点をいくつか列記してみると、以下のような事柄が挙げられる。

①学外スポーツの広がり

- ＊スポーツの種類は？
- ＊実施の形態・実態は？
- （どこで、誰と等）

②組織的な学外スポーツの実態

- （営利的スポーツ団体の活動を含む）
- ＊子どもを対象とした学外スポーツの場、およびスポーツ団体の実態は？
- （組織の形態－ボランティア、営利）
- ＊活動のための施設の実態は？
- （公的施設の利用、自前施設の保有）
- ＊指導者の実態は？
- （その所有する資格等）

③親の願い、子供の期待

- ＊参加させたい親の願いとは？
- ＊参加した子供の期待とは？
- ＊その満足度は？

（満足している面、不満足な面）

④学校側の受け入れや、その理解度

- ＊それは積極的？それとも消極的？
- ＊その理由は？その原因は？

⑤学外スポーツのプラス面とマイナス面

- ＊「学校体育」の立場から
- ＊「家庭教育」の立場から
- ＊「子供自身」の立場から

（何がプラスで、マイナスなのか）

標記テーマに関わる状況は多種多様である。

そして、われわれがこのことにたいして取り組み始めた頃から、体育・スポーツ関係雑誌をはじめ新聞紙上に、われわれと同じ観点にたった記事、あるいは特集が組まれ、また日本体育学会においても類似の研究発表が多く目につくようになってきた。

このことは社会的な問題として認識され、注視されてきている事柄であることを裏づけているといえる。

先行資料

下記の体育関係雑誌および文献について、先行資料の調査を試みた。

I] 月刊雑誌

（学校体育 1970～1985, 体育の科学 1969～1985, 体育科教育 1984～1985, 文部時報 1976～1984, 体協時報 1951～1985, スポーツの広場 1982～1985, みんなのスポーツ 1979～1986）

II] 体育学研究（1971～1987）

Ⅲ] 日本体育学会大会

シンポジウム・一般研究（大会号抄録
1971～1987）

Ⅳ] 大学論集および紀要

（国会図書館所蔵雑誌目録および保健体育学
関係研究雑誌文献目録 1970～1984）

資料1：日本体育学会号抄録（1971～1987）

記号	発表者	テ	マ	年	大会	頁
1	脇坂 保雄他	スポーツ少年団の現状と課題解決のための基礎的研究		1987	第38回	92
2	仲野 隆士他	子ども会活動における野外活動の位置とその運営に関する調査研究		1987	第38回	95
3	大鋸 順	子供の運動生活モデルの検討		1987	第38回	210
4	武田 研他	児童期における学校体育と社会体育の関連性についての一考察		1987	第38回	212
5	平松 利文他	大人と子供のコミュニティースポーツクラブの比較研究		1986	第37回	115
6	松原 正之他	親の立場からみた少年スポーツ活動		1986	第37回	153
7	種村紀代子他	ミニバスケットボール教室参加児童の適応性 6		1986	第37回	158
8	藤田 雅文	地域における小学生のCLUB運動者に関する研究		1986	第37回	247
9	山本 清洋	少年期に於るスポーツの社会化に関する研究		1985	第36回	128
10	柳川 和優他	スポーツ少年団の現状と課題 1		1985	第36回	132
11	大田 周一他	スポーツ少年団の現状と課題 2		1985	第36回	133
12	東川 安雄他	子どものスポーツ集団の比較研究		1985	第36回	134
13	服部 宏治他	子ども会におけるスポーツ活動の現状と課題		1985	第36回	135
14	松原 正之他	親の立場からみた少年スポーツ活動について 2		1985	第36回	136
15	堀谷 武美他	親の立場からみた少年スポーツ活動について 3		1985	第36回	137
16	沢田 和明	サッカー少年団活動の実態に関する基礎研究		1985	第36回	138
17	種村紀代子他	ミニバスケットボール教室参加児童の適応性 5		1985	第36回	139
18	八木 実	民間スポーツクラブにおける体操競技選手の競技力向上について		1985	第36回	616
19	萩原 武久	少年サッカーの普及と健康管理		1984	第35回	47
20	種村紀代子他	ミニバスケットボール教室参加児童の適応性 4		1984	第35回	130
21	坂入 保世他	親の立場からみた少年スポーツ活動について		1984	第35回	132
22	松村 悦博他	地域少年野球の成層化と親の期待		1984	第35回	133
23	石井 英之他	小学生を対象としたスイミングスクールにおける指導項目及びスクーリング中の心拍数		1984	第35回	360
24	滝 豊樹他	少年サッカーにおけるゲーム中の心拍数		1984	第35回	575
25	牛木 直紀	ジュニアスキークラブに参加する子供と母親の意識調査		1984	第35回	671
26	平野 吉直他	スキー学校参加者の両親の期待に関する研究		1984	第35回	672
27	海老原 修他	子どものスポーツへの社会化に関する研究 3		1983	第34回	137
28	丸山 富雄	幼児のスポーツ教室参加にみられる両親の影響		1983	第34回	138
29	種村紀代子他	ミニバスケットボール教室参加児童の適応性 3		1983	第34回	141
30	丹羽 劭昭他	児童の屋外遊びを規定する要因の検討		1983	第34回	143
31	深町 明夫他	児童の生活（運動・遊び・食事）と体型・運動能力の相互関係		1983	第34回	468
32	牛木 直紀他	ジュニアスキークラブの実態調査		1983	第34回	671
33	馬場桂一郎	年代別にみた児童期の遊び		1982	第33回	165
34	塚本 真也他	子どもの遊びの「歪み」に関する事例的研究		1982	第33回	166
35	入口 豊他	児童の屋外遊びの比較研究 3		1982	第33回	167
36	丹羽 劭昭他	児童の屋外遊びの比較研究 4		1982	第33回	168

記号	発 表 者	テ ー マ	年	大会	頁
37	真栄城 勉他	家庭教育と「スポーツ教育」に関する基礎的研究	1982	第33回	169
38	種村紀代子他	ミニバスケットボール教室参加児童の適応性 2	1982	第33回	170
39	宮内 孝知	子どものスポーツに関する研究	1982	第33回	171
40	海老原 修他	子どものスポーツへの社会化に関する研究	1982	第33回	173
41	山本 清洋	少年期のスポーツ的社会化に関する研究	1982	第33回	174
42	入口 豊他	児童の屋外遊びの比較研究 1	1981	第32回	191
43	丹羽 劭昭他	児童の屋外遊びの比較研究 2	1981	第32回	192
44	種村紀代子他	ミニバスケットボール教室参加児童の適応性 1	1981	第32回	215
45	江刺 正吾	スポーツ参与にみられる性差とそれを規定する社会的要因の検討	1981	第32回	218
46	海老原 修他	子どものスポーツへの社会化に関する研究 1	1981	第32回	226
47	山本 清洋	少年期のスポーツ観の分析	1981	第32回	228
48	小林 輝子他	大阪府下の子どもの生活と遊びの実態	1981	第32回	494
49	種村紀代子他	ミニバスケットボール教室参加児童のパーソナリティ 6	1980	第31回	207
50	森 正明他	児童のスポーツ参加における関心の研究 2	1980	第31回	208
51	倉本 満枝他	キャンプ参加児童のリーダーシップ行動の変容に関する研究	1980	第31回	273
52	古屋 正俊他	児童・生徒のスポーツへの関与に及ぼすコミュニケーションの影響	1979	第30回	129
53	種村紀代子他	ミニバスケットボール教室参加者のパーソナリティ 5	1979	第30回	152
54	北村 薫他	児童のスポーツ参加における関心の研究 1	1979	第30回	162
55	森 正明他	児童のスポーツ参加における関心の研究 2	1979	第30回	163
56	飯田 稔他	幼児キャンプ参加者の母親の不安に関する研究	1979	第30回	187
57	井上 俊孝他	小学生の運動生活に関する研究	1979	第30回	400
58	宮内 孝知	リトル・リーグ野球の調査から	1979	第30回	695
59	塚本 真也他	スポーツ教室の有効性に関する基礎的調査研究	1978	第29回	112
60	藤原 誠他	児童の水泳参加とコミュニケーション・ソースに関する研究 1	1978	第29回	138
61	森 正明他	児童の水泳参加とコミュニケーション・ソースに関する研究 2	1978	第29回	139
62	西野 泰広他	わが国の少年ラグビー・スクールの実態調査	1978	第29回	142
63	種村紀代子他	ミニバスケットボール教室参加者のパーソナリティ 4	1978	第29回	148
64	牛窪 洋子他	児童の遊びとパーソナリティ	1978	第29回	149
65	飯田 稔他	幼児キャンプ参加者の母親の不安に関する研究	1978	第29回	170
66	井上 俊孝他	中学生の運動行動・運動生活に関する研究	1978	第29回	354
67	増田 靖弘	少年スポーツについて	1978	第29回	627
68	岡田 明他	スポーツ教室に通っている児童の実態について	1977	第28回	127
69	種村紀代子他	ミニバスケットボール教室参加者のパーソナリティ 2	1977	第28回	153
70	牛窪 洋子他	ミニバスケットボール教室参加者のパーソナリティ 3	1977	第28回	154
71	永吉 宏英他	幼児・児童の社会教育機関としてのスイミング・クラブの役割	1977	第28回	158
72	飯田 稔他	幼児キャンプ参加者の母親の期待度	1977	第28回	165
73	赤井 利男他	幼児キャンプにおける友だち関係の分析	1977	第28回	166
74	梅津 迪子他	幼児の遊びの実態調査 2	1977	第28回	425
75	栗本 閔夫他	スポーツクラブ所属児童生徒の骨年齢と体格・体力	1977	第28回	490
76	種村紀代子他	ミニバスケットボール教室参加者のパーソナリティ	1976	第27回	127
77	梶浦 英善他	児童対象の体育教室への参加志向の実態	1976	第27回	130
78	片山 健二他	スポーツ少年団に関する研究	1976	第27回	320
79	八代 勉他	スポーツ少年団に関する研究	1976	第27回	327

記号	発 表 者	テ	マ	年	大会	頁
80	丹羽 昶昭他	児童の遊びの研究		1975	第26回	148
81	亥野 敦雄他	児童対象の体育教室への参加志向の実態		1975	第26回	162
82	永吉 宏英他	児童のスイミング・スクール入会に及ぼす要因の分析		1975	第26回	163
83	丹羽 昶昭他	児童の遊びの研究 3		1974	第25回	167
84	高橋 健夫他	児童の遊びの研究 4		1974	第25回	168
85	乾 道生他	健康産業の社会的功罪 2		1974	第25回	196
86	日野 一男他	親のスポーツ経験より見た子供のスポーツ経験とクラブ参加状況		1974	第25回	225
87	小沢 博他	幼少年剣道に関する社会体育学的研究		1974	第25回	314
88	松永 郁男他	少年柔道の意識に関する調査		1974	第25回	318
89	押見 敬子他	子どもの遊びに関する研究 2		1973	第24回	11
90	入口 豊他	児童の屋外遊戯時間に作用する社会的要因 2		1973	第24回	61
91	永田 靖章	地域社会（学校外）における運動生活に及ぼす学校での運動生活の影響に関する研究		1973	第24回	385
92	高木 信良他	幼児の生活と遊びに関する研究		1973	第24回	395
93	古閑 広登他	学校体育から社会体育への移行措置による問題点		1972	第23回	71
94	高橋 健夫他	遊びに及ぼす社会的要因		1972	第23回	72
95	押見 敬子他	子どもの遊びに関する研究 1		1972	第23回	383
96	村上 繁他	スポーツマンガの子どもに与える影響		1971	第22回	97

資料 2：記要・論集

記号	著 者	テ	マ	雑 誌 名	巻 号	年
1	葛西 忠他	スポーツ少年団の実態に関する一考察		北海学園大学学園論集	14	1969
2	佐藤 誠	スポーツ少年団の現状と指導上の問題点		九州産業大学教養部紀要	6-1	1970
3	前川峰雄	戦後における社会体育の動向		順天堂大学保健体育紀要	14	1971
4	藤原健固	社会におけるスポーツマンの研究について		中京体育学論叢	13-2	1971
5	河野 昭	スポーツ教室の指導と運営についての一考察		松山商大論集	22-5	1971
6	鈴木勝衛	地域社会における社会体育の可能性と限界 1		福島大学教育学部論集 教育・心理	24-3	1972
7	永島惇正	地域スポーツに関する研究		広島大学教育学部紀要 第3部	20	1972
8	川口 貢	都市中学生の運動生活とスポーツ意識		横浜国立大学教育紀要	13	1973
9	矢野久英	幼稚園児・小学校児童の遊び・学習・しつけについて		東京学芸大学紀要 第5部門 芸体	25	1973
10	浅野辰三他	中学生の運動生活の構造的な研究		岡山大学教育学部研究集録	35	1973
11	萩原武久	少年サッカースクールの実態について 1		大阪教育大学紀要 第4部門教育	22	1973
12	高橋 章	地方都市における少年のスポーツクラブ 1		高崎経済大学論集	16-4	1974
13	正 貞彦	社会体育の振興とスポーツ振興審議会委員の考え方に関する研究		東海大学体育学部紀要	4	1974
14	富岡元信他	社会教育の現状とその方策		日本体育大学紀要	5	1975
15	小倉 清	社会体育における少年剣道の実態とその問題点		工学院大学研究論叢	13	1975
16	久保田正躬	児童体操選手育成に関する研究		天理大学学報学術研究会誌体育篇	15	1976
17	橋本 勲他	スポーツに対する態度の研究		中京女子大学紀要	11	1976
18	萩原武久	少年サッカースクールの実態について 2		大阪教育大学紀要 第4部門教育	25-1	1976
19	岡本重夫	体育事業—クラブサービスの具体的研究—		奈良教育大学紀要	26-1	1977

記号	著 者	テ ー マ	雑 誌 名	巻 号	年
20	細江文利	地域の体育経営の構造分析と体育事業の展開について	東京学芸大学紀要 第5部門 芸体	29	1977
21	正 貞彦他	地域における運動グループの運営について	東海大学体育学部紀要	7	1977
22	大橋美勝	地域社会におけるスポーツクラブの比較研究	岡山大学教育学部研究集録	46	1977
23	渡辺 功他	スポーツ教室参加者の実態調査	静岡大学教育学部研究報告 人社	28	1977
24	徳田喜平	少年柔道育成に関する方策	金沢大学教育学部 教科教育研究	10	1977
25	池田延行	地域の体育経営における学校開放の役割	岡山大学教育学部研究集録	47	1977
26	橋本明雄他	少年剣道指導に関する調査研究	東海大学体育学部紀要	新7	1977
27	岡田 猛他	質的データ分析によるスポーツ少年団の研究	鹿児島大学教育学部研究紀要	30	1978
28	深田博己他	子どもの発達と学校外教育 1	広島大学教育学部紀要	27	1978
29	小泉東海他	スポーツクラブの現状と問題点	中京学院大学論叢 一般教育	13 - 1	1978
30	川西正志他	愛知県下の地域スポーツクラブの集団特性に関する研究	中 京 体 育 学 研 究	20 - 1	1979
31	飯田頼男	スポーツ少年団の事例研究	静岡大学教育学部研究報告 人社	30	1979
32	西野泰広	子どもの教育に関する親の態度の研究	日本大学人文科学研究所研究紀要	22	1979
33	尾形敬史	柔道に対する意識の研究	茨城大学教育学部紀要 教育科学	28	1979
34	中原弘之	親子関係と子どもの自己活動	茨城大学教育学部紀要 教育科学	29	1980
35	山本秀人他	スポーツクラブの参加性を規定する要因に関する研究	中 京 体 育 学 研 究	20-2・3	1980
36	川西正志他	生涯スポーツの見地から見たスポーツクラブの存続性に関する研究	中 京 体 育 学 研 究	20-2・3	1980
37	藤島仁兵	量的データ分析によるスポーツ少年団の指導者に関する研究	鹿児島大学教育学部研究紀要	32	1980
38	山本秀人他	スポーツクラブの存続性とクラブ員の参加度に関する研究	中 京 体 育 学 研 究	22 - 1	1981
39	岸本 肇	子どものからだの現状と体育の課題	神戸大学教育学部研究集録	67	1981
40	飯田頼男他	身体的発育・発達におよぼす運動経験の関与	静岡大学教育学部研究報告 人社	32	1981
41	永吉宏英他	子どもの遊びの歪みに関する事例研究	大 阪 体 育 大 学 紀 要	13	1982
42	丸山富雄	幼児のスポーツ参加と両親の影響 1	仙 台 大 学 紀 要	14	1982
43	吉村 豊他	児童のスポーツ参加における関心の研究	中 央 大 学 体 育 研 究	16	1982
44	真栄城勉他	少年サッカーに関する研究 2	愛媛大学教育学部紀要 第1部教科	29	1983
46	吉村 豊他	児童のスポーツ参加における関心の研究	中 央 大 学 体 育 研 究	17	1983
47	鳴川英生他	テニススポーツクラブ会員の社会的特性	中 京 体 育 学 論 叢	24-1・2	1983
48	丸山富雄	幼児のスポーツ参加と両親の影響 2	仙 台 大 学 紀 要	16	1984
49	桑野 豊他	スポーツクラブの社会的機能に関する研究	筑波大学体育科学系紀要	7	1984

ここでは特に月刊雑誌の中から、視点を「子供のスポーツクラブをめぐる構造」において、その指摘されているいくつかの事柄を要約して記述する。

1) スポーツクラブへの指向

クラブへの指向は、各層によってその意識は様々である。子どもの、親の、教育関係者の、それぞれの立場で錯綜しているのが現状のようである。これを具体的に示す。

①健康・体力的側面からの指向

(身体を丈夫にする、腕力をつける、体力をつける等)

②精神的側面からの指向

(仲間が欲しい、遊びたい・楽しみたい、社会性を身につける、粗暴な性格を矯正する等)

③技術的側面からの指向

(ある程度の技術を身につける、優れた技術を身につける等)

④その他

(非行を防ぐ等)

2) クラブ運営の形態

それぞれの立場から期待がもたれているクラブの運営形態は、

①民間企業型

②地域ボランティア型

③行政型

この3つの形態が現状ではあげられる。

しかし、将来的にはこれらとは異質な形態のクラブが出現する可能性が指摘されている。

3) クラブの性格特性

各々のクラブでは、多岐にわたるスポーツ種目(水泳、陸上競技、サッカー、テニス、ラグビー、バレーボール、バスケットボール、レスリング、軟式野球、硬式野球、体操、剣道、柔道、空手等)が行われている。そして、この運営には一連の傾向(性格特性)がある。

その性格特性を要約すると、

①リトリージズムの状況

②単一スポーツ種目の指導

③生涯スポーツへの期待、移行

④勝利指向、技術指向

⑤業績価値での評価

⑥学校運動部からの影響

となる。

これらの性格特性が、どのクラブにもあるというのではなく、一般的傾向として述べたまでである。

4) クラブ参加の価値

クラブに参加した子ども達の得たもの(価値)には、当然のことながらプラスとマイナスのものがある。これらを集約すると、以下のような事柄を指摘することができる。

プラス面

①身体的発達の助長

②ストレス耐性能力の優位性

③孤独感からの解放、多くの友人の獲得

④精神的(情緒や感情)安定、社会的適能力の高まり

⑤リーダーシップの獲得

⑥非行傾向の低下

マイナス面

①スポーツ傷害の頻発

②学業成績の低下

③過度のストレスによる逃避行動

④自主性や創造性の欠如

⑤非行傾向の高まり

⑥目的の不一致からくる欲求不満行動

⑦クラブ継続からくる経済的圧迫の増加

5) クラブの在り方

将来的な(在るべき姿を求めた)クラブの在り方についての論議は盛んである。

その方向を示唆するものとして指摘されてきている事柄がいくつかある。

その第1は、チームワークよりもクラブワークを重視すべきであって、勝利主義のチームワークよりも、クラブ運営のためのクラブワークを考えなければならぬという意見である。

第2は、クラブと子どもの目的、欲求の合致をはかるべき努力が必要である。

第3は、展開すべきプログラムの拡充をはかっていかなければならない。例えば、地域のクラブは子どもと大人(親と子)がともに参加し共演するなかで、ともに学び楽しむ関係が持てるような

プログラムを積極的に提供していくべきである。

第4は、勝利することを指向する子どもと、楽しむことを指向する子どもとがともに認め合い、共存できるような運営。

第5は、個人の立場が最大限保障されたクラブ組織でなければならない。

第6は、プレイすることが自発的に行われるように、その運営が形成されていなければならない。

第7は、クラブはその自由性、自主性、自治性が基本的性格となっていなければならない。

第8として、過度の大人の介入を防がなければならない。

以上が「子どものスポーツクラブをめぐる構造」にかかわる今日までの論議の大略である。

日本体育学会大会においても、「子どもとスポーツクラブ」「学校体育とクラブスポーツ」に関するシンポジウムがもたれている。

1984年 第35回大会

体育社会学シンポ：「青少年とスポーツ」

体育管理学シンポ：「地域スポーツクラブの指導者について」

保健シンポ：「スポーツの普及と健康管理」

1985年 第36回大会

体育管理学シンポ：「青少年スポーツの振興をめぐる諸問題」

1987年 第38回大会

体育社会学シンポ：「子どもとスポーツ

ーその危機的状況をめぐってー」

また、文末の「資料1」には、日本体育学会大会における一般研究の中から「子どもとスポーツ」にかかわる演題を抜粋して一覧表にして示した。

「資料2」は、各大学の論集・紀要から抜粋した関係研究の標題の一覧表である。

実態調査のためのアンケートの作成

本研究は、まず学外スポーツに焦点を絞り、子どもを対象とした「アンケート調査」を実施し、その実態を把握した。そして、そこに横たわる問題点やその解決の糸口を探ることを目的とした。

作成したアンケートは、大略次の内容で構成されている。

I] 調査対象者の基礎データ（フェース調査）にかかわる調査項目。

II] 学校生活（全般、体育科目授業、クラブ活動）にかかわる調査項目。

III] 学外スポーツ（スポーツクラブ活動）にかかわる調査項目。

IV] 学内と学外スポーツクラブ間とにかかわる調査項目。

以上、4つのパートは、さらに100項目におよんだ設問が用意されている。

このアンケートの質問項目の構造を系統図的にまとめたものを「図1」に示す。

予備調査の実施

本調査を実施するに当たっては、対象（地域、年齢、母集団とその標本）の抽出をどうするか。調査の具体的方法（設問内容とその回答方法、用紙の配布、回収方法等）をどうするのか等々、検討解決しなければならない問題は山積している。

そこで、われわれはこうした基本的な問題を解決するために必要な資料を得るため、1985年（昭和60年）に会員が所属するK小学校の5年生のうち、1学級の子どもたちを対象として予備調査を実施した。

本報は、予備調査の結果からいくつかの知見を得たのでこれを報告する。

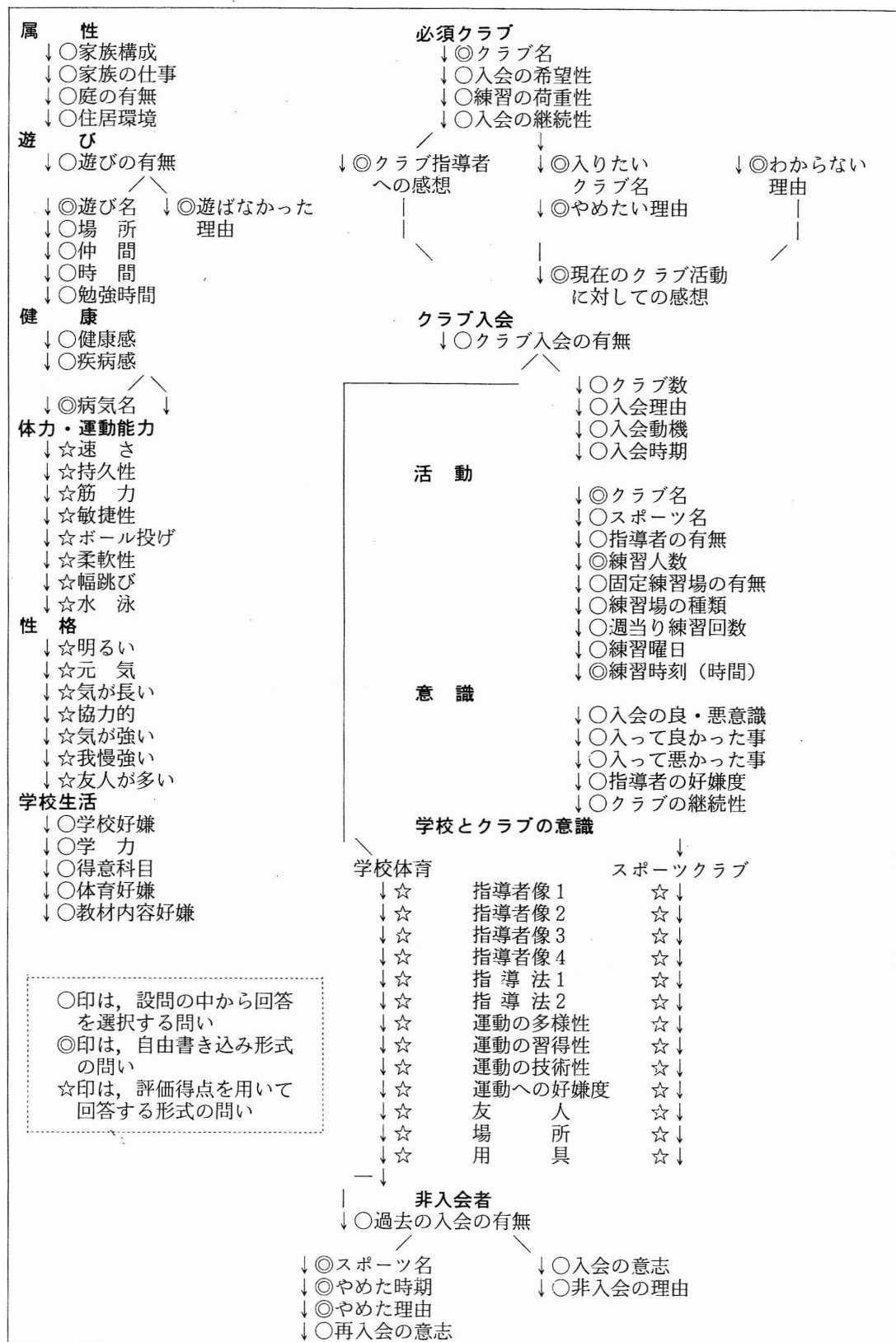


図1 アンケートの構造

予 備 調 査 の 集 計 表

<性差：クラブ>

非入会者群			入 会 者 群			合計
男	女	小計	男	女	小計	
16	7	23	11	8	19	42

I-2-1) <家族構成員数>

ア. 3人	3	0	3	1	0	1	4
イ. 4人	3	1	4	6	2	8	12
ウ. 5人	6	3	9	3	4	7	16
エ. 6人	2	2	4	1	0	1	5
オ. 7人	2	0	2	0	1	1	3
カ. 10人	0	0	0	0	1	1	1
キ. 無記入	0	1	1	0	0	0	1

I-2-3) <庭の有無程度>

ア. 十分遊べる庭がある	2	0	2	2	3	5	7
イ. 少しは遊べる庭がある	7	4	11	7	3	10	21
ウ. 遊べるほどの庭がない	5	1	6	2	2	4	10
エ. 庭がない	2	1	3	0	0	0	3
オ. 無記入	0	1	1	0	0	0	1

I-2-4) <住居形態>

ア. 住宅地	11	4	15	7	7	14	29
イ. 商店街	3	3	6	4	1	5	11
ウ. その他	2	0	2	0	0	0	2

I-3-1) <遊びの程度>

ア. 良く遊んだ	6	0	6	6	4	10	16
イ. 少しは遊んだ	8	3	11	5	3	8	19
ウ. どちらかといえば遊ばない	2	4	6	0	1	1	7
エ. 全く遊ばない	0	0	0	0	0	0	0
オ. わからない	0	0	0	0	0	0	0

I-3-2) -(1)<遊びの内容>

	非入会者群			入 会 者 群			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
1. 駅への散歩	2	0	2	0	0	0	2
2. 野球	5	0	5	4	0	4	9
3. ボコペン	2	0	2	1	0	1	3
4. テレビゲーム	1	0	1	0	1	1	2
5. ゲーム	4	1	5	1	3	4	9
6. 30ゲーム	1	0	1	0	0	0	1
7. ボードゲーム	1	0	1	0	0	0	1
8. パズルゲーム	1	0	1	0	0	0	1
9. マンガ	1	0	1	0	1	1	2
10. 絵画	0	1	1	0	0	0	1
11. 机上遊び	0	1	1	0	0	0	1
12. トランプ	0	0	0	0	1	1	1
13. 話	0	0	0	0	1	1	1
14. コンピュータ	2	0	2	1	0	1	3
15. ファミリーコンピューター	2	0	2	4	0	4	6
16. バザーについて	0	0	0	0	1	1	1
17. サッカー	4	0	4	2	2	4	8
18. 釣り	3	0	3	4	0	4	7
19. オニゴッコ	1	2	3	0	0	0	3
20. 遊具遊び	0	4	4	0	0	0	4
21. カンケリ	0	0	0	0	1	1	1
22. ドッチボール	0	0	0	0	3	3	3
23. バレーボール	0	0	0	0	4	4	4
24. サイクリング	0	0	0	1	1	2	2
25. なわ・ゴムとび	0	0	0	0	3	3	3
26. スポーツ	0	0	0	1	0	1	1
27. 無記入	2	4	6	0	1	1	7

I-3-2)-(2)<遊びの場所>

	非入会者群			入会者群			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
ア. 自宅の中	10	2	12	4	3	7	19
イ. 友達の家の中	7	2	9	5	4	9	18
ウ. 自宅の庭	1	0	1	2	1	3	4
エ. 友達の家の中	1	1	2	1	1	2	4
オ. 近くの公園	6	3	9	3	2	5	14
カ. 空地	2	0	2	2	1	3	5
キ. 道路	5	0	5	0	0	0	5
ク. 寺社境内	0	0	0	0	1	1	1
ケ. 校庭	1	0	1	0	2	2	3
コ. デパート・商店街の中	2	1	3	3	0	3	6
サ. 海岸	6	0	6	5	1	6	12
シ. 山・川	0	0	0	0	0	0	0
ス. 会社のグラウンド	0	0	0	0	0	0	0
セ. ゲームセンター	0	0	0	1	0	1	1
ソ. 遊園地	0	0	0	0	0	0	0
タ. その他	0	0	0	0	0	0	0
無記入	0	3	3	0	1	1	4
合 計							96

I-3-2)-(3)<遊びの相手>

ア. 同学校の友達	14	3	17	11	6	17	34
イ. 異学校の友達	1	0	1	1	0	1	2
ウ. 年下の子	4	1	5	1	3	4	9
エ. 中学生	1	0	1	2	0	2	3
オ. 高校生	0	0	0	1	1	2	2
カ. 大人	1	0	1	0	0	0	1
キ. 兄弟姉妹	3	1	4	2	5	7	11
ク. 父	4	1	5	1	2	3	8
ケ. 母	0	1	1	0	1	1	2
コ. 家族	0	0	0	0	3	3	3
サ. 塾の先生	0	0	0	0	0	0	0
シ. 相手がいない	0	0	0	0	0	0	0
ス. その他	0	0	0	1	0	1	1
無記入	2	3	5	0	1	1	6
合 計							82

I-3-2)-(4)<遊びの時間>

	非入会者群			入会者群			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
ア. 30分以上	0	1	1	0	1	1	2
イ. 1時間以上	2	1	3	1	2	3	6
ウ. 2時間以上	6	2	8	5	3	8	16
エ. 3時間以上	6	0	6	4	1	5	11
オ. その他	0	0	0	1	0	1	1
無記入	2	3	5	0	1	1	6

I-3-2)-(5)<勉強の時間>

ア. 30分以上	5	1	6	2	1	3	9
イ. 1時間以上	3	2	5	7	4	11	16
ウ. 2時間以上	3	1	4	0	1	1	5
エ. 3時間以上	3	0	3	1	0	1	4
オ. その他	0	0	0	1	0	1	1
多重回答(イ・エ)	0	0	0	0	1	1	1
無記入	2	3	5	0	1	1	6

I-3-3)<ウー遊ばなかった理由～回答対象7名>

ア. 気持	1	1	2	0	0	0	2
イ. 仲間	1	2	3	0	0	0	3
ウ. 勉強	0	0	0	0	2	2	2
エ. マンガを読んでいた	0	0	0	0	1	1	1

I-4-1)-(1)<健康感>

ア. とても健康	9	1	10	2	5	7	17
イ. 健康なほうである	6	5	11	8	0	8	19
ウ. あまり健康でない	1	0	1	1	3	4	5
エ. 健康でない	0	0	0	0	0	0	0
オ. わからない	0	1	1	0	0	0	1

I-4-1)-(2)<病気>

ア. 病気になるものにかかったことがない	8	7	15	5	5	10	25
イ. たまに病気になることがある	8	0	8	6	1	7	15
ウ. よく病気になる学校を休むことがある	0	0	0	0	1	1	1
エ. その他	0	0	0	0	1	1	1

I-4-1)-(3)<病気の名前> (イ・エの対象16名)

	非入会者群			入会者群			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
ア. カゼ	3	0	3	5	1	6	9
イ. ゼンソク	4	0	4	0	0	0	4
ウ. 気管支炎	0	0	0	0	1	1	1
エ. 腹痛	0	0	0	1	1	2	2
オ. 発熱	0	0	0	1	1	2	2
カ. 中耳炎	1	0	1	0	0	0	1
記載不明	1	0	1	0	0	0	1
合 計							20

I-4-2)-(1)<早走>

5. はやく走れる	3	0	3	2	4	6	9
4.	4	0	4	4	1	5	9
3. 普通	3	5	8	3	2	5	13
2.	3	1	4	2	1	3	7
1. はやく走れない	3	1	4	0	0	0	4

I-4-2)-(1)<持久走>

5. ながく走れる	4	0	4	3	4	7	11
4.	2	0	2	3	1	4	6
3. 普通	5	3	8	2	2	4	12
2.	3	3	6	2	0	2	8
1. ながく走れない	2	1	3	1	1	2	5

I-4-2)-(1)<筋力>

5. 重いものを持てる	5	0	5	3	6	9	14
4.	6	4	10	3	2	5	15
3. 普通	4	2	6	3	0	3	9
2.	0	0	0	2	0	2	2
1. 重いものを持ってない	0	1	1	0	0	0	1
無記入	1	0	1	0	0	0	1

I-4-2)-(1)<敏捷性>

	非入会者群			入会者群			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
5. 動きがすばやい	3	0	3	2	3	5	8
4.	6	0	6	4	2	6	12
3. 普通	4	5	9	5	3	8	17
2.	2	1	3	0	0	0	3
1. 動きがおそい	1	1	2	0	0	0	2

I-4-2)-(1)<ボール遠投>

5. 遠くにボールを投げられる	3	2	5	4	5	9	14
4.	5	1	6	1	2	3	9
3. 普通	5	0	5	2	1	3	8
2.	2	4	6	3	0	3	9
1. 遠くにボールを投げられない	1	0	1	1	0	1	2

I-4-2)-(1)<柔軟性>

5. 体が柔らかい	2	0	2	0	3	3	5
4.	2	2	4	1	2	3	7
3. 普通	5	1	6	5	2	7	13
2.	4	3	7	1	1	2	9
1. 体がかたい	3	1	4	4	0	4	8

I-4-2)-(1)<幅跳び>

5. 遠くにとべる	3	0	3	0	3	3	6
4.	1	0	1	5	3	8	9
3. 普通	8	6	14	3	2	5	19
2.	2	0	2	2	0	2	4
1. 遠くにとべない	1	1	2	1	0	1	3
無記入	1	0	1	0	0	0	1

I-4-2)-(1)<水泳>

5. 泳げる	5	0	5	2	2	4	9
4.	4	1	5	2	2	4	9
3. 普通	4	3	7	4	4	8	15
2.	3	2	5	1	0	1	6
1. 泳げない	0	1	1	2	0	2	3

I-4-2)-(1)<総合点, 一体力・運動能力>

	非入会者群			入会者群			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
5点～	0	1	1	0	0	0	1
10点～	0	0	0	1	0	1	1
15点～	1	0	1	0	0	0	1
20点～	3	3	6	4	0	4	10
25点～	6	3	9	2	3	5	14
30点～	3	0	3	3	2	5	8
35点～	1	0	1	1	2	3	4
40点～	0	0	0	0	1	1	1
無記入～	2	0	2	0	0	0	2

I-4-2)-(1)<明るい>

5. 明るい	9	4	13	4	7	11	24
4.	4	2	6	3	0	3	9
3. 普通	2	0	2	2	1	3	5
2.	1	1	2	1	0	1	3
1. くらい	0	0	0	1	0	1	1

I-4-2)-(1)<元気>

5. 元気がある	11	4	15	6	6	12	27
4.	3	2	5	2	0	2	7
3. 普通	2	0	2	2	2	4	6
2.	0	0	0	0	0	0	0
1. 元気がない	0	1	1	1	0	1	2

I-4-2)-(1)<気がながい>

5. 気がながい	3	1	4	0	2	2	6
4.	1	2	3	7	2	9	12
3. 普通	8	2	10	1	3	4	14
2.	3	1	4	2	0	2	6
1. 気が短い	1	1	2	1	1	2	4

I-4-2)-(1)<協力>

	非入会者群			入会者群			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
5. 協力的	3	1	4	1	5	6	10
4.	2	3	5	1	1	2	7
3. 普通	9	1	10	9	1	10	20
2.	2	1	3	0	1	1	4
1. わがまま	0	1	1	0	0	0	1

I-4-2)-(1)<気が強い>

5. 気が強い	2	0	2	0	5	5	7
4.	2	3	5	3	1	4	9
3. 普通	7	3	10	6	1	7	17
2.	4	0	4	1	1	2	6
1. 気が弱い	1	1	2	1	0	1	3

I-4-2)-(1)<我慢強い>

5. 我慢強い	3	0	3	0	3	3	6
4.	5	3	8	4	1	5	13
3. 普通	4	3	7	5	4	9	16
2.	2	0	2	1	0	1	3
1. あきっぱい	2	1	3	1	0	1	4

I-4-2)-(1)<友達がおおい>

5. 友達がおおい	8	1	9	5	6	11	20
4.	5	2	7	2	0	2	9
3. 普通	3	3	6	4	1	5	11
2.	0	0	0	0	0	0	0
1. 友達がすくない	0	1	1	0	1	1	2

I-4-2)-(1)<総合点, 一性格>

5点～	0	1	1	0	0	0	1
10点～	0	0	0	1	0	1	1
15点～	1	0	1	1	1	2	3
20点～	6	2	8	2	0	2	10
25点～	7	2	9	4	2	6	15
30点～	1	2	3	3	4	7	10
35点～	1	0	1	0	1	1	2

Ⅱ-1-1) 学校の好嫌意識>

	男	女	小計	男	女	小計	合計
ア. 大変好き	3	0	3	1	4	5	8
イ. 好き	1	1	2	3	2	5	7
ウ. 普通	11	6	17	6	2	8	25
エ. 嫌い	1	0	1	0	0	0	1
オ. 大嫌い	0	0	0	0	0	0	0
カ. わからない	0	0	0	1	0	1	1

Ⅱ-1-2) <学力の程度>

ア. よく出来る	1	1	2	0	0	0	2
イ. 少し出来る	2	0	2	4	3	7	9
ウ. 普通	9	3	12	4	3	7	19
エ. どちらかという出来ない	4	0	4	0	1	1	5
オ. 出来ない	0	3	3	3	0	3	6
カ. わからない	0	0	0	0	1	1	1

Ⅱ-1-3) <好きな科目>

ア. 国語	4	5	9	1	3	4	13
イ. 社会	10	2	12	4	6	10	22
ウ. 算数	10	3	13	6	4	10	23
エ. 理科	7	0	7	8	5	13	20
オ. 音楽	3	3	6	2	7	9	15
カ. 図工	11	5	16	9	4	13	29
キ. 家庭	10	6	16	5	7	12	28
ク. 体育	10	4	14	11	7	18	32
無記入	1	0	1	0	0	0	1
合 計	66	28	94	46	43	89	183

Ⅱ-1-4) <嫌いな科目>

	男	女	小計	男	女	小計	合計
ア. 国語	10	2	12	7	4	11	23
イ. 社会	3	3	6	6	2	8	14
ウ. 算数	5	3	8	5	2	7	15
エ. 理科	3	6	9	3	0	3	12
オ. 音楽	8	0	8	8	0	8	16
カ. 図工	3	0	3	1	2	3	6
キ. 家庭	3	1	4	3	0	3	7
ク. 体育	2	4	6	0	0	0	6
無記入	2	0	2	0	2	2	4
合 計	39	19	58	33	12	45	103

Ⅱ-1-5) <体育の好嫌意識>

ア. 大変好き	8	1	9	6	7	13	22
イ. まあ、好き	3	3	6	4	0	4	10
ウ. 普通	4	1	5	1	1	2	7
エ. どちらかという嫌い	1	2	3	0	0	0	3
オ. 嫌い	0	0	0	0	0	0	0
カ. わからない	0	0	0	0	0	0	0

Ⅱ-1-6) <好きな運動種目>

ア. おにごっこ	2	1	3	0	3	3	6
イ. かけっこ	5	2	7	2	5	7	14
ウ. なわとび	5	1	6	0	3	3	9
エ. ジャンブルジム	0	1	1	0	1	1	2
オ. 鉄棒	1	0	1	3	2	5	6
カ. マット	3	0	3	1	4	5	8
キ. ドッチボール	10	3	13	8	6	14	27
ク. ポートボール	7	3	10	5	5	10	20
ケ. バスケットボール	5	3	8	6	6	12	20
コ. サッカー	15	1	16	10	5	15	31
サ. マラソン	2	0	2	1	1	2	4
シ. 走幅跳び	7	3	10	1	3	4	14
ス. 走高跳び	4	0	4	2	3	5	9
セ. リレー	5	2	7	5	5	10	17
ソ. その他	1	0	1	1	1	2	3
合 計	72	20	92	45	53	98	190

Ⅱ-2-1) <必修クラブ名>

	非入会者群			入会者群			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
机上旅行	2	0	2	0	0	0	2
陶芸クラブ	4	0	4	1	0	1	5
将棋クラブ	6	0	6	2	0	2	8
工芸クラブ	2	0	2	4	1	5	7
手芸クラブ	0	3	3	0	0	0	3
料理クラブ	0	1	1	1	0	1	2
歴史クラブ	0	0	0	1	0	1	1
ギタークラブ	1	0	1	0	0	0	1
鼓笛クラブ	0	1	1	0	3	3	4
マンガ・イラスト	0	1	1	0	0	0	1
サッカー	0	0	0	2	0	2	2
卓球	1	0	1	0	0	0	1
バドミントン	0	0	0	0	1	1	1
バレーボール	0	1	1	0	0	0	1
マット	0	0	0	0	3	3	3

Ⅱ-2-2) <必修クラブ入部希望>

ア. 希望どうり	11	6	17	8	8	16	33
イ. 希望どうりでない	5	1	6	3	0	3	9

Ⅱ-2-3) <必修クラブ練習の程度>

ア. とてもきつい	0	0	0	0	0	0	0
イ. すこしきつい	1	1	2	0	2	2	4
ウ. 普通	8	1	9	3	3	6	15
エ. 楽なほう	6	4	10	6	2	8	18
オ. わからない	0	1	1	2	1	3	4
無記入	1	0	1	0	0	0	1

Ⅱ-2-4) <必修クラブの持続性>

ア. 続けたい	2	2	4	1	4	5	9
イ. まあ続けたい	6	2	8	7	3	10	18
ウ. やめたい	6	3	9	3	1	4	13
エ. わからない	2	0	2	0	0	0	2

Ⅱ-2-5) <必修クラブへの希望> (ア・イの該当者27名)

	非入会者群			入会者群			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
仲間	1	3	4	0	1	1	5
場所	1	0	1	0	1	1	2
用具	3	0	3	3	0	3	6
練習	2	0	2	0	1	1	3
技術	0	2	2	0	3	3	5
無記入	1	0	1	5	3	8	9
合計							30

Ⅱ-2-6) <必修クラブへの再入部名> (ウ該当者13名)

	非入会者				入会者				合計
	男 将棋	女 陶芸	男 バレー	女 手芸	男 将棋	女 工芸	男 サッカー	女 鼓笛	
工芸	2	0	0	0	0	0	0	0	2
料理	2	0	0	0	0	0	1	1	4
歴史	0	2	0	0	0	0	0	0	2
サッカー	2	0	0	0	0	0	0	0	2
バスケット	1	0	0	0	0	0	0	0	1
バドミントン	0	0	0	1	0	0	0	0	1
鼓笛	0	0	1	1	0	0	0	0	2
卓球	0	0	0	0	1	0	0	0	1
将棋	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	7	2	1	2	1	1	1	1	16

Ⅱ-2-6) <必修クラブの退部理由> (ウ該当者13名)

	非入会者群			入会者群			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
おもしろくない	2	1	3	0	0	0	3
あきた	0	0	0	1	0	1	1
合わない	0	0	0	0	1	1	1
希望以外	2	1	3	0	0	0	3
用具	0	0	0	1	0	1	1
指導者	2	1	3	0	0	0	3
仲間	0	1	1	0	0	0	1
練習	0	0	0	1	0	1	1
合計	6	4	10	3	1	4	14

Ⅱ-2-7) 及びⅡ-2-8) は省略

Ⅲ-1-2) <入会クラブ数>

	男	女	合計
ア. 1つ	10	8	18
イ. 2つ	1	0	1

Ⅲ-1-3) <入会動機>

ア. 自分から	6	6	12
イ. 父・母から	3	0	3
ウ. 友達から	2	1	3
多重回答(ア・エ)	0	1	1

Ⅲ-1-4) <入会理由>

ア. 体を丈夫	3	1	4
イ. 力をつける	2	1	3
エ. 上手になりたい	5	4	9
オ. 友達を得る	0	1	1
カ. 気持ちをすっきりさせたい	1	1	2
ケ. おもしろそう	2	2	4
コ. 好きだから	5	4	9
サ. 楽しそうだから	0	1	1
セ. 学校にないから	0	2	2
タ. その他	0	1	1
合 計	18	18	36

Ⅲ-1-5) <入会時期>

ア. 幼稚園	1	1	2
イ. 1年生	2	0	2
ウ. 2年生	2	0	2
エ. 3年生	4	3	7
オ. 4年生	1	2	3
カ. 5年生	1	2	3
合 計	11	8	19

Ⅲ-2-1) 省略

Ⅲ-2-2) <スポーツ科目>

	男	女	合計
ア. 水泳	2	0	2
イ. バレー	0	4	4
エ. サッカー	2	0	2
ク. 軟式野球	5	0	5
サ. 剣道	2	0	2
ス. 空手	1	0	1
ソ. 体操	0	2	2
タ. バレエ	0	2	2
合 計	12	8	20

Ⅲ-2-3) <練習時の指導者の有無>

ア. いつもいる	11	4	15
イ. ととききいる	0	4	4

Ⅲ-2-4) <練習時の人数>省略

Ⅲ-2-5) <練習場所>

ア. 同じ所	3	2	5
イ. 違う所	4	1	5
ウ. その他	4	5	9

Ⅲ-2-6) <練習場所の内容>

ア. クラブ施設	1	1	2
イ. 学校施設	4	6	10
ウ. 会社施設	3	2	5
エ. 公園施設	2	0	2
オ. 市・県施設	4	0	4

Ⅲ-2-7) <練習回数>

	男	女	合計
ア. 1回	1	2	3
イ. 2回	4	4	8
ウ. 3回	4	0	4
エ. 4回	0	0	0
オ. 5回	0	0	0
カ. 6回	0	0	0
キ. きまっていない	0	1	1
ク. その他	2	1	3

Ⅲ-2-8) <練習曜日>

ア. 日曜日	8	0	8
イ. 月曜日	0	0	0
ウ. 火曜日	1	0	1
エ. 水曜日	5	2	7
オ. 木曜日	3	0	3
カ. 金曜日	3	4	7
キ. 土曜日	5	5	10
ク. きまっていない	0	0	0
ケ. その他	2	1	3
合 計	27	12	39

Ⅲ-2-9) <練習時間>省略

Ⅲ-3-1) <入会の感想>

ア. 大変良かった	7	7	14
イ. まあ良かった	2	1	3
オ. わからない	2	0	2

Ⅲ-3-2) <入会してよかったこと>

	男	女	合計
ア. 病気をしない	1	0	1
イ. 力がついた	4	2	6
エ. きもちがすっきりした	1	2	3
オ. ともだちができた	4	3	7
カ. 自信がつく	2	2	4
キ. 楽しい	2	5	7
ク. 上手になった	8	3	11
コ. 礼儀正しくなった	1	2	3
サ. 我慢がよくなった	2	3	5
シ. 性格が明るくなった	0	4	4
セ. 卒業するようになった	0	1	1
ソ. スポーツが好き	4	4	8
タ. 試合に出ることができた	6	2	8
チ. 試合に勝つことができた	5	2	7
テ. その他	1	0	1
	42	34	76

Ⅲ-3-3) <入会してわかったこと>

ウ. つかれる	4	2	6
ク. 練習がきつい	1	0	1
コ. しかられる	0	1	1
セ. 遊ぶ時間がない	2	1	3
ソ. 朝早い	1	0	1
タ. 夜遅い	2	0	2
ニ. 上手になれない	0	2	2
ノ. 悪いことはなにひとつない	3	4	7
ハ. その他	2	1	3
無記入	1	0	1
合 計	16	11	27

Ⅲ-3-4)＜指導者の好き嫌い＞

ア. 大好き	2	2	4
イ. 少し好き	3	2	5
ウ. 普通	6	4	10

Ⅲ-3-5)＜クラブの持続性＞

	入会者群		
	学 校		
	男	女	小計
ア. つづける	8	8	16
イ. つづけない	0	0	0
ウ. わからない	3	0	3

Ⅲ-4-1)ーア＜先生と一緒に運動する＞

	非入会者群			入会者群			スポーツ			合計
	学 校			学 校			学 校			
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
5. 本当にそう思う	6	1	7	1	2	3	7	5	12	22
4.	2	0	2	3	3	6	3	1	4	12
3. 普通だと思う	2	2	4	6	2	8	1	2	3	15
2.	5	1	6	1	1	2	0	0	0	8
1. そうではないと思う	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2
0. わからない	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
無記入	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1

Ⅲ-4-1)ーイ＜先生は、親しみやすく、親切＞

		非入会者群			入会者群			スポーツ			合計
		学 校			学 校			学 校			
		男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
5	親しみやすく、親切	7	3	10	0	2	2	4	3	7	19
4		3	0	3	2	3	5	3	2	5	13
3	普通	4	0	4	6	3	9	1	3	4	17
2		1	2	3	2	0	2	1	0	1	6
1	親しみやすく、親切でない	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
0	わからない	0	1	1	1	0	1	2	0	2	4
無記入		1	0	1	0	0	0	0	0	0	1

Ⅲ-4-1)ーエ＜先生にはなんでも相談出来る＞

	非加入者群			入会者群			スポーツ			合計
	学 校			学 校			学 校			
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
5 相談できる	7	1	8	1	2	3	4	4	8	18
4	2	1	3	1	3	4	2	2	4	11
3 普通	0	2	2	7	2	9	4	2	6	17
2	4	1	5	1	1	2	0	0	0	7
1 相談できない	2	1	3	0	0	0	0	0	0	3
0 わからない	0	1	1	1	0	1	1	0	1	3
無記入	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1

Ⅲ-4-1)ーオ＜やる事がはっきりして、分りやすい＞

5 わかりやすい	5	0	5	0	2	2	3	2	5	12
4	3	0	3	1	1	2	3	2	5	10
3 普通	5	1	6	5	4	9	1	3	4	19
2	2	2	4	3	1	4	3	1	4	12
1 わかりにくい	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3
0 わからない	0	1	1	2	0	2	1	0	1	4
無記入	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1

Ⅲ-4-1)ーカ＜一つの事を詳しく、良く教えてくれる＞

5 良く教えてくれる	4	2	6	4	3	7	3	2	5	18
4	2	2	4	5	1	6	4	3	7	17
3 普通	5	0	5	2	4	6	1	2	3	14
2	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2
1 良く教えてくれない	2	2	4	0	0	0	0	0	0	4
0 わからない	0	1	1	0	0	0	1	0	1	2
無記入	2	0	2	0	0	0	1	1	2	4

Ⅲ-4-1)ーキ＜いろんな種類の運動ができる＞

5 いろんな運動ができる	6	1	7	2	2	4	1	4	5	16
4	2	0	2	3	4	7	2	1	3	12
3 普通	6	4	10	4	0	4	4	1	5	19
2	0	0	0	1	2	3	1	1	2	5
1 いろんな運動ができない	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
0	0	1	1	1	0	1	2	1	3	5
無記入	2	0	2	0	0	0	1	0	1	3

Ⅲ-4-1)-ク＜運動を早く覚えられて、上手になれる＞

	非入会者群 学 校			入 会 者 群 学 校			ス ポ ー ツ			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
5 上手になれる	4	0	4	2	3	5	4	3	7	16
4	3	2	5	1	0	1	1	2	3	9
3 普通	6	2	8	6	4	10	3	1	4	22
2	1	1	2	1	1	2	0	0	0	4
1 上手になれない	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2
0 わからない	0	1	1	1	0	1	2	0	2	4
無記入	2	0	2	0	0	0	1	1	2	4

Ⅲ-4-1)-ケ＜新しいことを教えてくれる＞

5 新しいことを教えてくれる	4	2	6	5	1	6	5	4	9	21
4	3	2	5	2	3	5	2	1	3	13
3 普通	6	1	7	4	3	7	2	1	3	17
2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	2
1 新しいことを教えてくれない	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
0 わからない	0	1	1	0	0	0	1	0	1	2
無記入	2	0	2	0	0	0	1	2	3	5

Ⅲ-4-1)-コ＜友達や仲間ができる＞

5 友達や仲間ができる	5	2	7	4	2	6	6	5	11	24
4	5	2	7	3	2	5	3	0	3	15
3 普通	3	1	4	2	3	5	1	0	1	10
2	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2
1 友達や仲間ができない	0	1	1	0	1	1	0	0	0	2
0 わからない	0	1	1	1	0	1	0	1	1	3
無記入	2	0	2	0	0	0	1	1	2	4
誤答 (3・5)	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1

Ⅲ-4-1)-サ＜運動するところがひろい＞

	非入会者群 学 校			入 会 者 群 学 校			ス ポ ー ツ			合計
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
5 運動するところがひろい	4	1	5	3	7	10	5	1	6	21
4	3	0	3	2	0	2	3	3	6	11
3 普通	4	3	7	6	0	6	3	2	5	18
2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
1 運動するところがせまい	2	1	3	0	0	0	0	0	0	3
0 わからない	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
無記入	3	0	3	0	0	0	0	2	2	5

Ⅲ-4-1)-シ＜用具がたくさんある＞

5 用具がたくさんある	6	2	8	5	5	10	6	4	10	28
4	1	2	3	2	3	5	1	1	2	10
3 普通	6	1	7	3	0	3	2	0	2	12
2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
1 用具がたくさんない	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2
0 わからない	0	1	1	1	0	1	1	0	1	3
無記入	2	0	2	0	0	0	1	2	3	5

Ⅲ-4-1)-ス＜運動をしてもつまらない＞

5 運動してもつまらない	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
3 普通	2	3	5	1	0	1	2	0	2	8
2	2	1	3	2	1	3	1	1	2	8
1 運動しておもしろ	7	0	7	4	6	10	3	5	8	25
0 わからない	2	2	4	4	1	5	5	0	5	14
無記入	2	0	2	0	0	0	0	2	2	4

Ⅲ-4-1)＜総合点，一学校とクラブの意識＞

	非入会者群			入会者群			スポーツ			合計
	学 校			学 校			学 校			
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
1～4点	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
5～9点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19点	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
20～24点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29点	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
30～34点	1	0	1	0	0	0	1	1	2	3
35～39点	3	0	3	4	1	5	0	0	0	8
40～44点	2	3	5	4	3	7	2	0	2	14
45～49点	2	1	3	1	1	2	3	2	5	10
50～54点	1	1	2	2	2	4	2	2	4	10
55～59点	3	0	3	0	0	0	1	0	1	4
60～64点	1	0	1	0	1	1	0	1	1	3
無記入	3	0	3	0	0	0	1	2	3	6
合 計	16	7	23	11	8	19	11	7	18	60

Ⅳ-1＜過去のクラブ入会の有無＞

ア. ある	7	3	10
イ. ない	8	4	12
無記入	1	1	2

Ⅳ-2-1)＜過去の入会クラブ名＞

サッカー	3	0	3
バレー	0	1	1
スポーツクラブ	1	0	1
野球	2	0	2
水泳	3	2	5
体操	0	1	1

Ⅳ-2-2)＜過去の入会クラブをやめた時期＞

	男	女	小計
幼稚園	0	2	2
2年生	2	1	3
3年生	1	0	1
4年生	4	0	4
5年生	1	0	1
不明	1	1	2

Ⅳ-2-3)＜クラブをやめた理由＞

	男	女	小計
他クラブと重複	1	0	1
おもしろくない	2	2	4
身体的状況	1	1	2
勉強	2	0	2
指導員	0	1	1
父・母の影響か	0	1	1
いそがしい	1	0	1

Ⅳ-2-5)＜再入会の意志＞

ア. 入る	3	0	3
イ. 入らない	3	2	5
ウ. わからない	1	2	3
誤答	2	0	2

Ⅳ-3-1)＜入会の意志＞(イをつけたもの12名)

ア. 入る	1	1	2
イ. 入らない	5	3	8
ウ. わからない	2	0	2
誤答	2	1	3

予備調査結果の概要

I-1 対象者の性別およびクラブ構成

小学校5年生42名で、男子27名、女子15名の構成である。

クラブ入会者は男子11名、女子8名、非入会者では男子16名、女子7名の割合になっている。

I-2 家族構成および住居形態

全体として4～5人家族が多い。遊べる庭のある児童93%と多い。また過半数以上が住宅地に住んでいる。

I-3 遊びについて

1) 遊びの程度

約80%の子どもが学校から帰って遊んでいる。入会者の方がよく遊んでいる。

2) 遊びの内容

コンピューターゲームにつぎ、野球、サッカー、釣り等の順になっている。また、男子は非入会者、女子では入会者の方が多く遊びをしている。

3) 遊びの場所

自宅、友達の家、公園および海岸の順になっている。

4) 遊びの相手

男女とも同学年、友達、兄弟姉妹、年下の子の順になっている。

5) 遊びの時間

男子は2～3時間が最も多く、女子は1～2時間となっている。

6) 勉強の時間

男子1時間以上、女子は30分以上となっている。

I-4-1) 健康について

[注] I-4, II-1の項では、特にスポーツクラブ入会者および非入会者の区別をしていない]

(1) 健康感

とても健康および健康をあわせて86%を示し、健康でないと回答した者0となっている。

(3) 病気の名前

1位がかぜ45%、2位ゼンソク20%、3位腹痛および発熱10%となっている。ゼンソクが2位になっていることは、現在の食生活、住居の

特徴とも考えられる。

I-4-2) 体力・運動能力について

(1) 早く走れる

走る能力で、おそいと回答した子どもが27%いることは、運動能力の低下をまねく原因となる。

(5) ボール投げ

少年野球などが盛んになっている今日であるが、ボールを遠くへ投げられないと回答した者26%になっている。

(8) 水泳

プールの普及にもかかわらず、泳げない子ども21%にも達していることは以外であった。

I-4-3) 性格について

(3) 気がながい

気が短いと回答が24%あることは現代社会（ストレス）の影響を象徴しているように思われる。

(6) がまんづよい

あきっぽいのが27%を占めていることも現代社会の特徴のように思われる。

II-1 学校でのこと

1) 学校の好き・嫌いの意識

学校が好きと回答した者94%に達している。

2) 学力の程度

できない、わからないが29%を占めている。この原因を明らかにすることが重要と思われる。

3) 好きな科目

体育、図工、家庭の芸術科目が上位を占め、つづいて算数、社会、理科の順であった。

4) 嫌いな科目

国語、音楽、算数、社会、理科となっている。芸術科目の音楽が嫌な科目の2位になっていることは以外である。

5) 体育の好き・嫌いの意識

好き、普通と回答した者93%になっている。

6) 好きな運動種目

サッカー、ドッチボール、ポートボール、バスケットボールの順となっている。しかし、従来から遊びとされている、かけっこ、おにごっこは低い値を示している。

II-2 クラブ活動について

1) 必修クラブ

スポーツクラブに入部している者が、運動クラブに入部しているものと予想していたが、必ずしもそうではない。男子で運動クラブ入部者18%, 女子50%で男子より女子の方が多い。

3) 練習程度

男女とも練習は普通、楽なほうと、男子85%, 女子67%の回答を示している。学校の運動クラブの練習は比較的楽なようである。

III-1 スポーツクラブについて

2) 入会クラブ数

1種目が男女とも95%, 2種目が男女5%となっている。

3) 入会動機

自分から進んで入会したが男女63%を占め、父母からの進め、友達からの進めと回答した者それぞれ16%を示している。

4) 入会理由

体が丈夫になるから、力をつけたいからという回答が男子に多い。また、その他の理由として、興味がある、好きだから、楽しいからなどの回答が、男女とも著しく多くなっている。

III-2 スポーツクラブの練習

2) はいっているスポーツクラブ

男子では、野球42%と多く、サッカー、水泳、剣道が各17%となっている。

女子では、バレーボールが50%を示し、体操、バレーが各25%を示している。

3) 練習時間と指導者

常時指導しているが79%を示し、時々指導している21%となっている。このことから指導者は約80%常に指導していることになる。

III-3 スポーツクラブについての感想

1) スポーツクラブに入会の感想

入会して良かったが90%を占めている。子どものスポーツに対する関心の高いことがうかがえる。

III-4 学校の体育とスポーツクラブの活動

III-4-1) 学校の先生と一緒に運動する

(1) 先生と一緒に運動する

全体では、運動してくれると意識している子

どもは、全体の42.5%である。運動してくれると意識している子どもが23.8%となっている。

(2) 学校の先生とクラブの指導への意識

入会者群でみると、先生に対して47.4%, 指導者に対しては84.3%が運動してくれるとしている。

III-4-2) 先生は親しみやすく親切

(1) 学校の先生に対する意識

全体では、親しみを持っている子ども47.7%である。

(2) 先生と指導者との比較

入会者群では先生は36.8%, 指導者が63.1%親しみの意識を持っている。

III-4-3) 先生は親切に教えてくれる

(1) 先生の教え方に対する意識

全体では、親切に教えてくれると思っている子どもが42.9%である。そう思っていない子どもが23.8%となっている。

(2) 先生と指導者との比較

先生は36.9%, 指導者は63.2%の子どもが満足している。なお、指導者には満足していない子どもは皆無である。

III-4-4) 先生になんでも相談できる

(1) 先生に対する信頼感

全体として、信頼感を持っている子ども26.2%という結果である。

(2) 先生と指導者との比較

先生は20.1%, 指導者は52.6%の子どもが信頼感を持っている。

III-4-6) 良く教えてくれる

(1) 先生の教え方に対する意識

全体として、良く教えてくれるとする子どもは、全体の52.4%である。

(2) 先生と指導者との比較

入会者群は63.2%, 指導者は68.4%が良く教えてくれるとしている。

IV いまスポーツクラブに入っていない人だけに聞く

IV-2-1) そのクラブでやっていたスポーツは
男子ではサッカーと水泳が多く、ともに42.9%つづいて野球であった。

女子では水泳が66.7%で、体操33.4%であった。

IV-2-2) クラブをやめたのはいつ

クラブをやめた時期の早い者は4~5歳,そして大部分の者は2年生から4年生にかけてである。

IV-2-4) クラブをやめた理由

理由で一番多かったのは、「おもしろくない」、「つまらない」、「あきた」、で約40%であった。次いで「勉強が大変になった」、「忙しい」で30%。そして水泳をやっていた者で「中耳炎にかかったから」が20%,あるいは練習が「きつい」、コーチが「こわい」とした者が20%,さらに「日程が重なる」とした者が10%いた。

注) 予備調査集計の結果を要約したものである。

ま と め

本研究班が発足して足かけ5年になる。

社会体育の何者かからの勉強を始め、テーマの設定までかなりの時間を要してしまった。

本報告はアンケートの骨子を決め、それをもって予備調査を行ったところまでの第1報である。

子どもを対象にしたアンケート調査は、文章表現一つをとっても大変難しいものである。読める

のだろうか。意味が通じてくれるのだろうか。予備調査で子どもが回答するのに要した時間は、担任の先生がつきっきりで、早い生徒は20分で終了、遅い生徒はゆうに1時間を費やしたという。

回答の、また集計処理・分析処理のしやすい設問形式が整っているか。設問の量は適量か。さらに推敲を重ね内容を吟味していかなければならないであろう。

しかし、予備調査の結果は本調査への貴重なデータを提示してくれた。

本調査に期待する「子どもをとりまくスポーツ」の実態の大方の傾向を、この予備調査は示してくれたものと思われる。

このテーマの抱える問題は大きい。本研究を更に進めることによってその実態を究明し、問題解決への提言が成されることを期待している。

最後に、本報告をまとめるにあたって、神奈川支部学会の支援と、ご協力いただいた先生方に謝辞を申し述べる。

日本体育学会神奈川支部共同研究会・社会体育研究班一覧

(アイウエオ順)

明 石 一 雄	神奈川県立体育センター	鈴 木 円 蔵	神奈川県立外語短期大学
有 本 守 男	横浜 商 科 大 学	鈴 木 勉	神 奈 川 大 学
○池 田 尹 雄	鎌倉市立第一小学校	○鈴 木 英 夫	横浜 商 科 大 学
○岩 下 聆	聖マリアンナ医科大学	谷 嶋 二三男	横 浜 市 立 大 学
植 田 三 夫	神 奈 川 大 学	田 村 誠	横 浜 国 立 大 学
内 野 欽 司	横 浜 国 立 大 学	永 田 俊 勝	関 東 学 院 大 学
○片 尾 周 造	横 浜 市 立 大 学	藤 江 善一郎	横 浜 国 立 大 学
鎌 田 章	神 奈 川 大 学	前 岡 孝 行	神 奈 川 大 学
木 島 晃	関 東 学 院 大 学	○水 田 嘉 美	東 海 大 学
日 馬 雄 紀	関 東 学 院 大 学	宮 崎 重 勝	神 奈 川 大 学
小 滝 紘 一	防 衛 大 学 校	村 上 一 郎	横 浜 商 科 大 学
○小 松 幸 円	神 奈 川 大 学	村 松 茂	横 浜 市 立 大 学
斉 藤 正 三	神奈川県教育委員会	○矢 野 博	神 奈 川 大 学
斉 藤 直 樹	神 奈 川 大 学	山 下 昭 子	神 奈 川 大 学
佐 藤 誠 治	神奈川県教育委員会	渡 辺 信 行	神奈川県立西湘体育センタ
佐 藤 宏 継	神奈川県教育委員会		

(○印 分担執筆者)